

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：一般国道12号・275号 苗穂交差点 <small style="display: block; text-align: center;">なえほ</small>	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北海道開発局					
起終点：自：北海道札幌市白石区菊水上町 <small style="display: block; text-align: center;">ほっかいどうさっぽろ しらいし きくすいかみまち</small> 至：北海道札幌市東区苗穂町 <small style="display: block; text-align: center;">ほっかいどうさっぽろ ひがし なえほ</small>	延長：1.1 km						
事業概要： <p>一般国道12号は、札幌市を起点とし岩見沢市・三笠市・滝川市等を経由し旭川市に至る延長約14.5 kmの幹線道路である。また一般国道275号は、札幌市を起点とし当別町・月形町・浦臼町等を経由して浜頓別町へ至る延長約28.2 kmの幹線道路であり、ともに道央圏と道北圏を連絡する重要な路線である。</p> <p>このうち苗穂交差点は、朝夕の通勤・通学時間はもとより、平時においても恒常的に発生している札幌市内の交通混雑を解消し、都市内交通の円滑化を図り、更に交通混雑に起因する交通事故の低減等を目的とした札幌市白石区菊水上町から東区苗穂町に至る延長1.1 kmの4車線拡幅事業である。</p>							
H12年度事業化	S42年度都市計画決定 (H一年度変更)	H13年度用地補償着手	H13年度工事着手				
全体事業費	約108億円	事業進捗率	75%	供用済延長	0.6 km		
計画交通量	23,700～31,800台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.2	総費用 (残事業/事業全体)	25/117億円	総便益 (残事業/事業全体)	50/135億円	基準年 平成24年
	(残事業)	2.0	事業費：24/115億円 維持管理費：0.73/2.5億円	走行時間短縮便益：47/124億円 走行経費減少便益：2.3/8.8億円 交通事故減少便益：0.48/1.9億円			
感度分析の結果： <p>【事業全体】交通量：B/C=1.0～1.5（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1～1.2（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.2（事業期間±20%）</p> <p>【残事業】交通量：B/C=1.8～2.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.8～2.2（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.0～2.1（事業期間±20%）</p>							
事業の効果等 事業の必要性及び効果 <ol style="list-style-type: none"> ①交通混雑の緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・ボトルネック区間が解消されることで交通混雑が緩和され、定時性の確保や利便性向上が期待される。 ②道路交通の安全性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・車線減少による通行車輛の輻輳が解消するなど、道路交通の安全性向上が期待される。 ③歩行者の安全性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な歩行空間が確保され、歩行者の安全性向上が期待される。 ④バスの利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・交通混雑が緩和され、定時性の確保及び、バス利用時の利便性向上が期待される。 ⑤救急搬送の安定性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・高次医療施設への救急搬送の速達性及び安定性向上が期待される。 ⑥CO2排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車からのCO2排出量831（t-CO2/年）の削減が期待される。 							
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： <p>千歳市など6市1町1村の首長で構成される北海道石狩地方開発促進期成会等より整備の要望を受けている。</p>							
札幌市長の意見： <p>一般国道12号、275号は、本市の骨格道路網を形成する重要路線のひとつとして位置づけられており、その拡幅整備は道央圏のネットワーク強化に資するとともに、市民生活の向上や経済・社会活動の</p>							

活性化に寄与することから、当該事業の「対応方針(原案)案」のとおり継続とすることについて異議はございません。

なお、事業の実施にあたっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、コスト縮減に積極的に取り組み、効率的・効果的な事業執行により早期供用が可能となるようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成16年9月 市道平和通中央線 平和大橋供用
- ・平成18年3月 国道275号 東雁来交差点供用
- ・平成19年3月 国道275号 東米里交差点供用

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成13年度に工事着手して、用地進捗率99%、事業進捗率75%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期供用に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

立体交差部分の基礎形式見直しによる、コスト縮減対策に取り組んでいる。

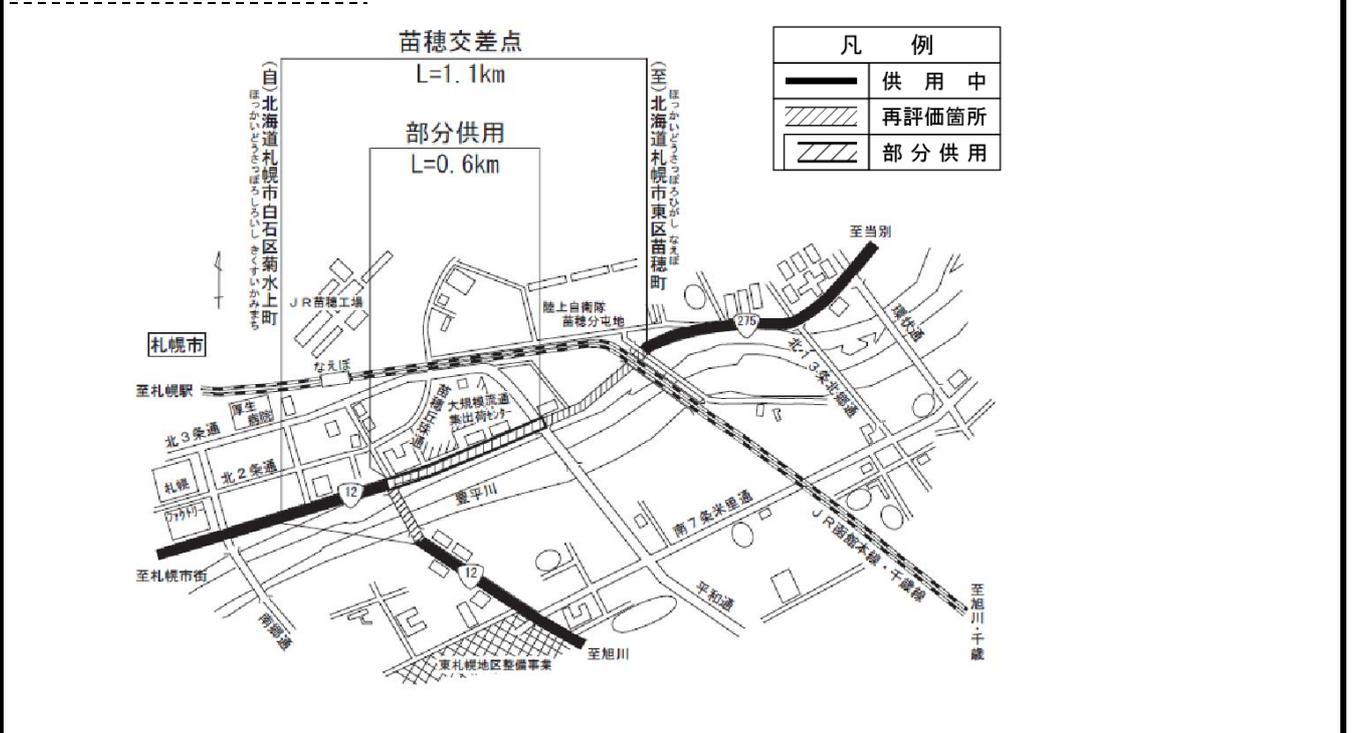
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性は変化なく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。